

せたがや 区議会だより



No.144

4/27

第1回定例会の主な会議日程

- 3月3日 本会議 (代表質問)
- 4日 本会議 (一般質問)
- 10日 本会議 (議案の議決)
- 11日~23日 予算特別委員会
- 28日 本会議 (会派意見、議案の議決)

発行 平成6年4月27日 〒154 世田谷区世田谷4丁目21-27 世田谷区議会事務局 ☎(5432)1111

●この区議会だよりは再生紙を使用しています



蛇崩川緑道にて

平成6年度予算が成立 — 第1回定例会開催 —

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から35の案件が、議員から2つの案件が提出され、すべて原案とおり可決されました。

●6年度各会計予算 4件

- 賛成多数 (賛成議員、区民、区政、民生)
- 一般会計
- 国民健康保険事業会計
- 老人保健医療会計
- 中学校給食費会計
- 関係記事は2~5ページに掲載

●5年度各会計補正予算 3件

- 賛成多数 (賛成議員、区民、区政、民生)
- 一般会計 (第2次)
- 国民健康保険事業会計 (第1次)
- 老人保健医療会計 (第1次)
- 補正後の各会計予算額は次のとおり。
- 一般会計 二三八億五八五、二万七千円
- 国保会計 三五四億、五九、二万七千円
- 老医会計 四三億、三五、五万三千円

●条例の新設 3件 (全員賛成)

- 文化振興基金条例
- 区民の文化活動を支援するため、基金を設置した。

●条例の改正 21件

- 組織条例 (全員賛成)
- 高齢対策室を「高齢対策部」に改め、組織を整備した。
- 奨学資金条例 (全員賛成)
- 口座振替の実施など、償還方法を改正した。
- 職員勤務時間・休日・休暇条例 (全員賛成)
- 職員の給与条例 (全員賛成)
- 以上の2件は、労働基準法の改正に伴うもの。
- 区民会館条例 (全員賛成)
- 玉川区民会館別館(上)用賀5丁目14-11-102を新設する。
- 出張所設置条例 (全員賛成)
- 祖師谷出張所成城分室を成城出張所に格上げした。
- 公害防止対策資金融資幹旋条例 (全員賛成)
- 環境基本法の制定に伴うもの。

公職選挙法の規定により、議員の寄付行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

2頁へ続く

平成6年度 予算のあらまし

総額三〇〇億円を超える平成6年度予算が成立しました。厳しい財政状況を反映して、一般会計は昭和30年以来、39年ぶりの対前年度比マイナスの予算となりました。

この予算案は、3月3日の本会議で区長から提案され、予算特別委員会が7日間にわたって審議された後、3月28日の本会議で原案どおり可決されました。

委員会では、不況による歳入減に加えて、国の減税措置による住民税の大幅な減収も予想される（国の減税法案は3月29日に国会で可決されました）なかで、区政への影響や今後の財源確保策などについて活発な議論が交わされました。

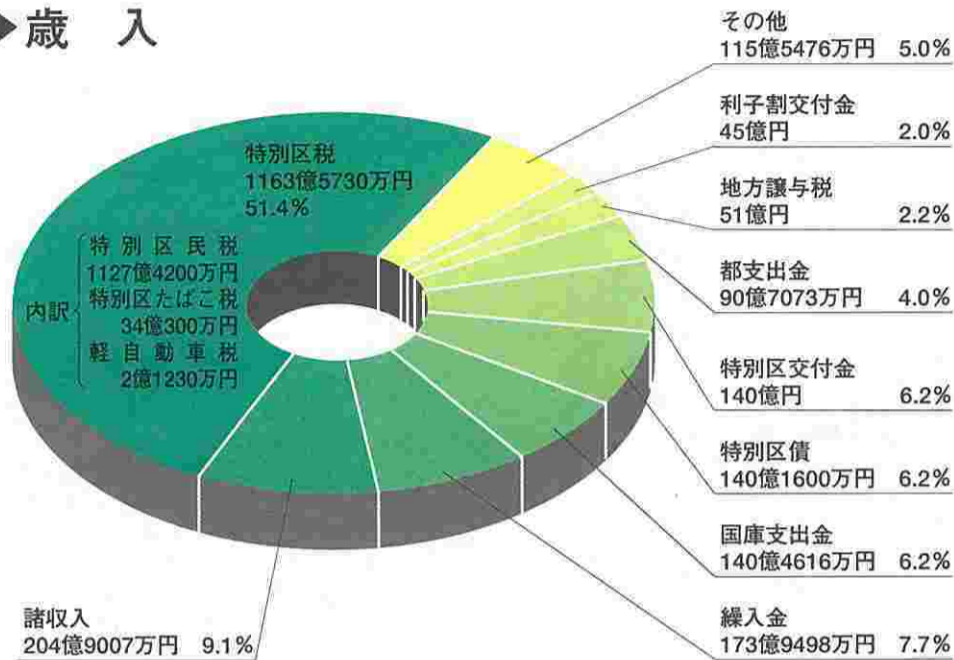
審議の内容は次のページに、予算に対する各会派の意見は4・5ページに掲載してあります。

●平成6年度各会計予算●

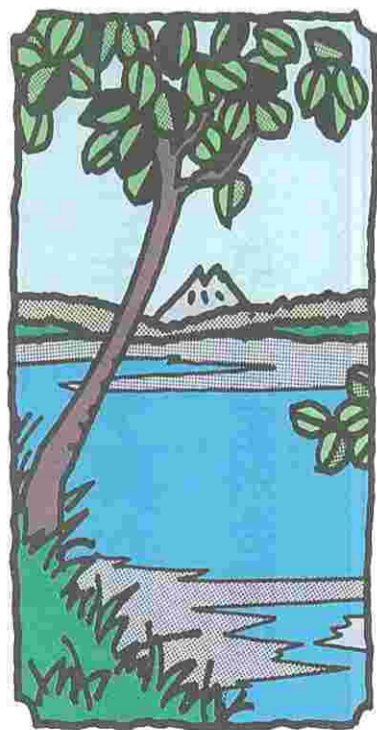
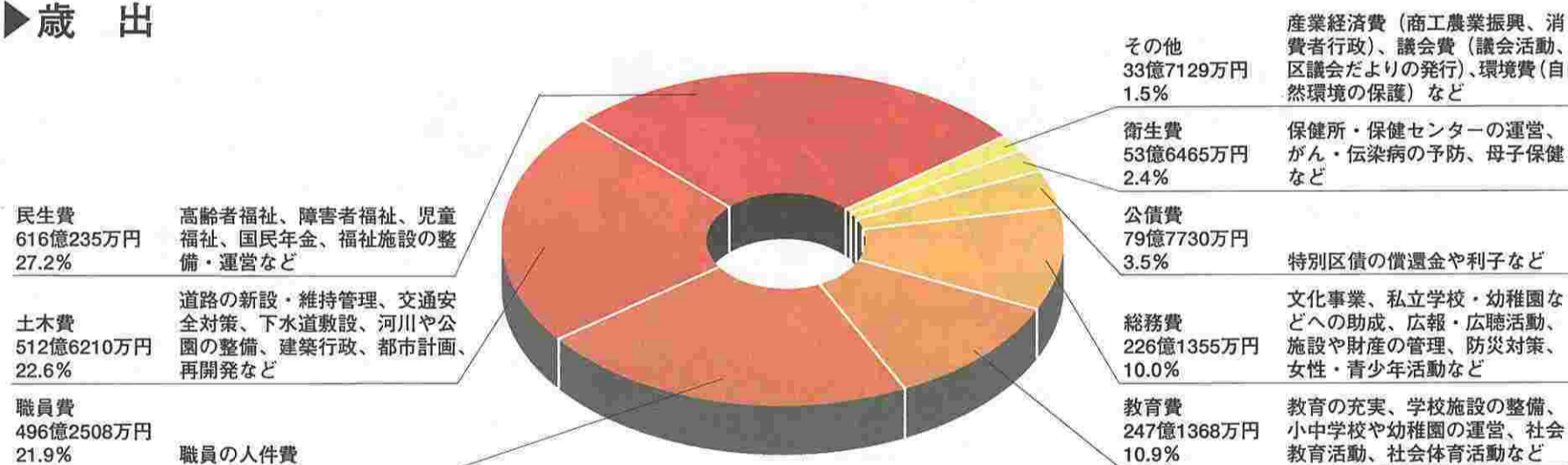
内 容		対前年度比 伸び率(%)
一 般 会 計	2265億3000万円	-0.7
国民健康保険事業会計	363億4552万円	4.0
老人保健医療会計	468億4671万円	8.6
中学校給食費会計	5億8624万円	3.5
計	3103億 847万円	1.1

一般会計の内訳

▶歳入



▶歳出



○公園条例（全員賛成）
次回の公園を新設するとともに、次大
夫掘公園の位置の表示を「喜多見5
丁目27-14」に変更した。

駐車場名	変更後の表示
喜多見	喜多見9丁目25-5
用賀	用賀4丁目5-5先

○公衆便所条例（全員賛成）
下高井戸公衆便所（松原3丁目29-
17）を新設した。

○保健所使用条例（全員賛成）
診療報酬の改定に伴うもの。
○自転車等放置防止条例（全員賛成）
烏山第2自転車等駐車を廃止した。
これに伴い、烏山第1自転車等駐車
場の名称を「烏山南自転車等駐車場」
に変更した。また、次の自転車等駐
車場の位置の表示を変更した。

○高齢者在宅サービスセンター条例
（全員賛成）
デイホーム上り用賀（上り用賀5丁目14-
11-101）を新設する。

○国民健康保険条例
（賛成多数）
保険料の賦課限度額を50万円に引き
上げたことなど。

○国民健康保険条例
（賛成多数）
保険料の賦課限度額を50万円に引き
上げたことなど。

議決内容の続き

○「交通安全都市宣言」に関する決議
—内容は8ページに掲載—

○国民健康保険条例の改正
都の国保調整条例の改正に伴うもの。

区道路線の認定	1件（全員賛成）
所在地	延長（m）
瀬田5丁目25	一一〇・〇四

○工事請負契約の締結 2件
（全員賛成）
○下水道枝線工事

工 事 名	契約金額
宇奈根2丁目付近その4	一億二六三〇万円
宇奈根1・2丁目付近その2	二億六八七四万円

○図書館条例（全員賛成）
碓図図書館を移転した。
移転先 祖師谷3丁目10-4

児童遊園名	所在地
大山 道	弦巻4丁目32-7
桜丘2丁目南	桜丘2丁目8-32

公園名	所在地
ねこじやらし	奥沢7丁目46-5
桜丘2丁目小緑地	桜丘2丁目8-39
瀬田5丁目小緑地	瀬田5丁目25-4

予算特別委員会での

主な質問・要望事項

7日間にわたり予算特別委員会で審議した質問や要望事項を分野別、会派別にお伝えします。

企画総務領域

自由民主党

- 区民の声を反映した新基本構想策定
- 健全財政の維持（財源の確保と効率的な配分、的確な資金運用）
- 入札制度の改善
- 清掃事業の早期移管
- サービス公社のチェック機関の設置
- 海外都市との交流事業の拡大
- 無認可幼児施設の保護者の負担軽減
- 滞納区民税解消への強力な取り組み
- 郵便局での公金の口座振替の実施

公明党

- 区政改革への積極的な取り組み
- 第三セクターの活性化
- 第三者による入札監視機関の設置
- 発展途上国への国際貢献の拡大
- 「風は世田谷」の放映時間帯の変更
- 区役所内への郵便局の誘致

日本共産党

- 宴会行政の取りやめ
- 第三セクターの公正・効率的な運営
- 私学に通う子どもへの保健費の補助
- 奨学金制度の対象枠の拡大
- 日本社会党・区民クラブ
- 平和資料館の早期建設
- 高額負担の借り上げ庁舎の見直し
- 火葬場建設への積極的な取り組み
- 生活者ネットワーク
- 清掃事業の受け入れ体制の整備

区民生活領域

自由民主党

- 世田谷に合った環境基本条例の策定
- 防災対策の強化（災害行動マニュアルの作成、来庁者の避難訓練の実施）
- 緑化施策の積極的な推進
- 都の谷川清流復活事業の早期完了
- 青少年の国内交流の促進
- 産業交流センターの早期建設
- 緊急資金融資制度の拡充
- 用賀商店街の整備促進
- 都の結婚相談所存続への働きかけ

公明党

- 分かりやすい環境基本条例の制定
- 申請書類の押印の廃止
- 区民施設の窓口対応の改善
- 女性センターの利用拡大へのPR
- 区民利用施設への託児室の設置
- 日本共産党
- 実効ある環境基本条例の策定
- 総合支所の窓口サービスの拡充
- 男女共同社会実現への取り組み
- 区民利用施設のトイレの改善

- オンブズマン制度の導入
- 庁舎内での分煙の拡大
- 民社党・無所属クラブ
- 総合支所の権限の拡大
- 新たな人事政策の確立
- 長期オール与党談合区政を改革する派
- 区長の公金による選挙運動の禁止
- 世田谷行革110番
- サービス公社への業務委託の見直し
- 問題を抱える美術財団理事長の進退

福祉保健領域

自由民主党

- 地域福祉計画の着実な推進
- 福祉マンパワーの積極的な確保
- 特別養護老人ホームの整備促進
- 民間病院への助成の実施
- 福祉サービスの窓口の整理統合
- 国民健康保険料の滞納の解消
- 敬老慶祝品の見直し
- 老人保健施設の早期設置
- 総合福祉センターの専門職の常勤化
- 骨粗しょう症対策の強化

公明党

- 特別養護老人ホームの増設
- 「寝たきりゼロ作戦」の強力な推進
- 高齢者給食サービスの拡大
- ホームヘルパーの積極的な確保
- 乳幼児保育の拡充
- 骨粗しょう症検診事業の充実

都市整備領域

自由民主党

- 土地有効活用に向けた用途規制緩和
- 都市防災不燃化促進事業の推進
- 地域基盤整備事業の積極的な展開
- ミニ区画整理事業の推進
- 交通安全対策の強力な推進
- 環8「エイトライナー」の早期実現
- 小田急線連続立体化事業の早期完成
- 公共施設の計画的・効率的な改修
- 老朽マンションの改築への支援
- 羽根木公園のトイレの増設

公明党

- 住宅供給への積極的な取り組み
- 都市防災不燃化促進事業の拡大
- 二子玉川東地区再開発の強力な推進
- バス路線網の整備
- きめ細かな放置自転車対策の推進
- 用賀インター周辺の投棄ゴミ対策
- 日本共産党
- 雨水・下水の再利用への取り組み
- 街並みに合った公衆便所の増設
- 信号機・交通標識の整備促進
- 美術館北側道路拡幅への取り組み
- 日本社会党・区民クラブ
- 地価監視区域制度存続への働きかけ

- 日本共産党
- 老人保健福祉計画の目標値の見直し
- 特別養護老人ホームの早期建設
- 砧地域への区立福祉作業所の設置
- 手話通訳者派遣事業の拡大
- 日本社会党・区民クラブ
- 老人保健福祉計画の目標値の再検討
- 寝たきり在宅高齢者への手当の増額
- 重度痴呆症者の特養ホーム優先入所
- 生活者ネットワーク
- 専門職を置いた総合相談窓口の開設
- ホームヘルプサービスの拡充
- 保健所の機能の充実
- 民社党・無所属クラブ
- 総合支所ごとの総合相談窓口の設置
- 長期オール与党談合区政を改革する派
- 国民負担の増加と福祉サービスの削減
- 世田谷行革110番
- 社会福祉法人設立での厳正な指導

文教領域

自由民主党

- 教育オンブズマン制度の慎重な検討
- 非常勤講師の移動教室参加費の支給
- 余裕教室を使用した高齢者との交流
- 障害児教育での小中学校の連携強化
- 教科書への再生紙利用の働きかけ
- 学校5日制に合った指導要領の改定
- 古民家復元工事契約方法の検討
- ポロ市の無形文化財への指定
- 小中学生の遊び場の確保
- 世田谷へのJリーグの誘致促進

- 公明党
- 不登校児の受け入れ施設の建設
- 福祉教育の推進
- 学校給食の充実（米の安定確保、食事時間の延長、給食実態調査の実施、各校へのランチルームの設置など）
- 学校給食施設の高齢者給食への活用
- 日本共産党
- 小学校全校への栄養士の配置
- 社会科見学バス代の公費負担の拡大
- 学校図書館への専任職員配置
- 社会教育団体への積極的な支援
- 日本社会党・区民クラブ
- 子どもの基礎体力向上への取り組み
- 外国人児童生徒の日本語教育の強化
- 「世田谷ドーム」の設置
- 生活者ネットワーク
- パソコン教育の一層の推進
- 全小学校への常勤栄養士の配置
- 余裕教室を使ったミニ博物館の設置
- 民社党・無所属クラブ
- 教育委員会での生涯学習事業の推進
- 長期オール与党談合区政を改革する派
- 政治家の利権構造疑惑の古民家移築



予算特別委員会



景気の低迷により、財政状況は非常に厳しいが、多様な区民ニーズには的確に対応していかなければならない。肥大化した事務事業を徹底的に見直し、コスト意識を持った効率的な行政運営

経営感覚を持った 無駄のない財政運営を

自由民主党
(賛成意見)

営に全力をあげよ。職員数の抑制にも努めよ。また、財源確保に強力に取り組むとともに、区民税の徴収率の向上に一層努力せよ。
区政の長期的な指針となる新基本構

平成6年度予算に対する 会派意見 のあらまし

最終日の本会議で、8人の議員が各会派を代表して、平成6年度各会計予算に対する意見を発表しました。その要旨をお伝えします。

想の策定では、区民の意見を十分に取
り入れるとともに、施策の優先順位を
明確にせよ。また、地域の特性に合
せたまちづくりに積極的に取り組め。
都区制度改革の早期実現を都に強く
働きかけよ。区でも事務事業の受け入
れ体制を整備せよ。区独自の事業を積
極的に展開できるように、自主財源の拡
大にも努めよ。
都市基盤の整備は、区政の最優先課
題だ。都と連携し、都市計画道路など
の整備に全力を注げ。交通事故を減ら
すため、細街路の拡幅や隅きりの改善、
ガードレールなどの交通安全施設の整
備に努めよ。さらに、環8「エイトラ
イナリ」や小田急線連続立体化の早期
実現に強力に取り組め。また、用途地



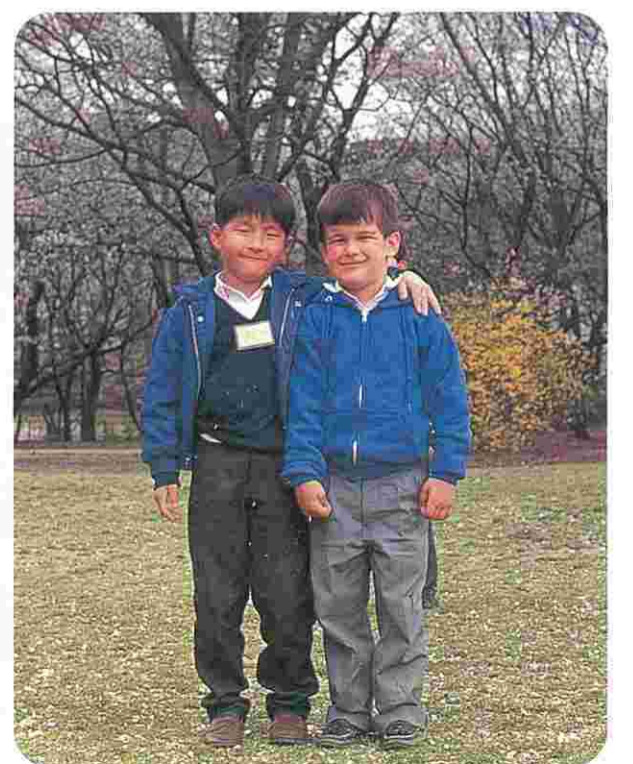
生活者が主役の区政に 積極的に取り組め

公明党
(賛成意見)

域の見直しにあたっては、将来の都市
像を見据えながら、土地の有効利用が
図られるよう、規制を緩和せよ。
高齢者福祉施策では、限られた財源
を効率的に活用し、より質の高いサ
ビスの提供に努めよ。高齢者の「寝た
きりゼロ」に向け、健康増進事業や生
きがい対策にも意を用いよ。
長期化する不況で、厳しい経営環境
に置かれている区内中小企業を支援す
るため、融資の拡大や貸し付け利率の
引き下げなどに努めよ。また、産業交
流センターの早期建設にも取り組め。
400以上にも上る区施設の修繕を計画
的に進めよ。また、学校や出張所など
へ工事の発注権限を移譲し、工事の迅
速化を図れ。

大変厳しい財政状況のなか、安心し
て暮らしていける区民生活の実現をめ
ざし、福祉に重点を置いた予算を編成
したことを評価する。
より良い区政を進めるうえで、執行
機関に対して、議会がチェックするだ
けという一方的な関係は望ましくない。
互いの能力を最大限に発揮し、協力し
て、区民生活のさらなる向上、住民自
治の確立に取り組むことが、区長以下
すべての職員と我々議会の使命である
ことを改めて確認する。
そのうえで、以下、具体的な施策に
ついて言及する。
第三セクターは、設立の本来の主旨
に立ち返り、活性化を図れ。
総合支所は、住民自治を確立するた
めの大きな拠点だ。支所長のリーダー
シップのもと、住民参加によるまちづ
くりや総合的な福祉サービスの提供な
ど、具体的な成果があがるよう、全力
を尽くせ。

新設の福祉保健連携課を中心に、従
来の縦割り行政の弊害を解消し、福祉・
保健・医療のネットワークの早期形成
に取り組め。
高齢者福祉施設の整備に対する、区
民要望が高い。建設予定の上北沢、北
沢の区立特別養護老人ホームは、早期
に着工せよ。老人保健施設の設置にも
意欲的に取り組め。
安心して子育てができる環境の早急
な整備が求められている。全保育園で
の0歳児の受け入れの実施など、乳児
保育の拡充に創意工夫を凝らせ。
住宅対策では、「せたがやの家」シス
テムを一層工夫するなど、低廉で良質
な住宅の供給拡大に全力をあげて取り
組め。
交通安全対策の推進にあたっては、
事故の多発箇所の詳細なデータを持つ
警察との協力が不可欠だ。新設される
交通安全対策課は、緊密な連携を図り、
きめ細かな対策を積極的に展開せよ。



なかよし

区民の立場に立った 清潔・公正な区政運営を

日本共産党
(賛成意見)

国は病院給食費の自己負担導入など、
医療、福祉の改悪を進めている。都も
公共料金を値上げし、不況で苦しい区
民生活をさらに圧迫しようとしている。
こうしたなか、6年度予算に区民生
活を守る福祉や教育への新たな施策を
盛り込んだことを評価する。しかし、
特養ホーム増設の取り組みがないこと
や、大企業本位の二子玉川・三軒茶屋
の再開発に巨費を投じるなど、問題の
多い予算であることも指摘しておく。
不正支出問題で失った、区民の信頼
を回復するため、宴会政治は二度と行
うな。区長は、区民の声を真しに受け
とめ、清潔、公正で民主的な区政の確
立に全力を注げ。また、第三セクター
は、適正で効率的な運営に努めよ。
住民税減税の実施により、区は大幅
な減収となる。財源の補てんを国に強
く求めよ。また、消費税の引き上げに
は断固反対せよ。
福祉施策では、老人保健福祉計画を

積極的に推進せよ。障害者福祉の充実
も図れ。鳥山保健相談所の保健所への
昇格、低年齢児保育の充実、全小学校
への学童クラブの設置にも取り組め。
また、保育料などは据え置き。
ゴミの減量やリサイクルの推進への
取り組みが遅れている。十分な職員の
配置や予算の増額を図れ。リサイクル
施設の増設にも早急に取り組め。また、
中小企業への融資制度の充実に努めよ。
子どもたちの思考力を養ううえで、
学校図書館の役割は大きい。各校に司
書を配置せよ。小学校の3・4年の社
会科見学バス代を公費負担せよ。
区民が安心して住み続けられる住宅
の供給が必要だ。民間の住宅を借り上
げる場合は、家主との契約期間をでき
るだけ長くせよ。区営住宅の建設など
にも取り組め。
新用途地域の指定にあたっては、再
び地価の高騰を招かないよう、安易な
規制緩和は行わない。



財政難を乗り切るため 歳入確保に万全を期せ

日本社会党・区民クラブ
(賛成意見)

厳しい財政状況に対応するため、起債や基金を効率的に活用し、財源確保に取り組み。区民税の滞納の解消に努力するとともに、前納報奨金制度の交付率の引き下げを検討せよ。

不祥事の再発防止に決意を示すため、区政改革は検討期間を区切り、区民に公表したうえで取り組み。オンブズマン制度は絶対導入せよ。

清掃事業の移管に関する都区合意を、都が区への相談もなく、一方的に変更したことは大変遺憾だ。区は、都の内

部団体ではないことを強く訴えよ。都の労使交渉が決裂した場合、清掃ストライキも予想される。その際は、区民の不安解消と混乱防止に努めよ。

リサイクル事業に積極的に取り組み。策定中の環境基本条例は理念だけに終わらせず、実効性のあるものとせよ。

防災上の見地から、狭い道路の拡幅や隅きりの改善、道路の不法占用の排除に全力をあげよ。区民の防災意識



兵庫島公園にて

の啓発、防災仮設トイレの備蓄に力を注げ。また、避難時の障害となる放置自転車等の解消策として、レンタサイクル事業の拡大、駐輪場の増設に努めよ。用途地域の見直しにあたっては、地価の再高騰を招かないよう、規制緩和を最小限にとどめよ。また、小田急線連続立体交差化事業では、住民が納得するまで話し合いを行え。公開された事業調査報告書を区議会へも提出するよう、都に要請せよ。

区立特別養護老人ホームの増設や、老人保健施設の設置に全力をあげて取り組み。在宅の要介護高齢者に十分な手当を支給できるように、基金を設立せよ。老人保健福祉計画の目標値の引き上げも検討せよ。また、福祉のまちづくり条例の制定を急げ。

この外、火葬場の早期建設、緑化事業の推進、0歳児保育の拡充、学校の余裕教室の活用や進路指導の充実などにも十分意を用いよ。



米政策の抜本的見直しを 国に強く求めよ

生活者ネットワーク
(賛成意見)

米不足による大きな混乱は、国の不十分な対応が原因だ。二度と国民を不安に陥らせまい。米の安定供給と消費者へのきめ細かな情報提供を国に強く求めよ。また、国で各種の規制緩和が進められているが、安全や環境に

関するものは、むしろ厳しくするよう働きかけよ。

6年度予算は、税収の落ち込みで、39年ぶりに対前年度比マイナスとなったが、イベント経費などの削減に努め、福祉と区民生活の充実に向けた施策へ重点的に財源配分したことを評価する。

減税の実施により、区の財政状況は今後さらに厳しくなる。区民税や国民健康保険料の徴収率向上に全力を注ぎ、遅れているリサイクル事業を進めるため、ストックヤードやリサイクルセンターの早期設置に積極的に取り組み。また、区民一人ひとりに、ゴミの減量への協力を呼びかけよ。

老人保健福祉計画を確実に実現する

ため、多様なマンパワー確保策を講じよ。高齢者などへの食事サービスも拡充せよ。また、在宅サービスセンターや空き教室を、土・日曜日には生涯学習や生きがい対策の場として活用せよ。良好な自然環境を残すため、貴重な水と緑の保全、創出に力を注げ。



区長が先頭に立って 区政改革を進めよ

民社党・無所属クラブ
(賛成意見)

住民自治と団体自治という地方自治の原則に改めて立ち返り、行き詰まりを見せている区政を根底から再構築することが必要だ。区長はまず、改革の方向性を明確に示したうえで、強力なリーダーシップを発揮し、区政改革を積極的に推進せよ。従来からの惰性或弊害にとらわれず、区民の視点や生活

担当職員の意欲を引き出す良好な職場環境づくりも重要だ。権限、責任の明確化や適材適所の人事配置に努めよ。特に、区政の第一線であり、今後の地域福祉の展開の核となる、総合支所、出張所には、有能で福祉・保健業務に精通した人材を配置せよ。

感覚を基本に据えた区政運営を心掛けよ。また、昨年の不祥事以来、沈滞している職場の雰囲気を一掃し、区政を

少子化や高齢化、人口の減少など、社会情勢に適應できる執行体制の整備に取り組み。区長部局と教育委員会が連携し、生涯学習事業を一層推進せよ。



砧ファミリーパークにて

政官業の利権構造を追及する

長期オール与党談合区政を改革する派
(反対意見)

区長を監視するのが議会の役目、全政党が区長の応援団で党利党略の税金分取り合戦に狂奔するなら議会などいらない。が、それが区の現状だ。区長が首にした前広報課長に10万円を渡し、不祥事の質問には「死人に口なし」で

危機感のない放漫区政を改めよ

世田谷行革110番
(反対意見)

区長をはじめ職員が区政に対するやる気と責任感を表すものでなければならぬ。しかし、文化・生活情報センターや文学館の設置に膨大な費用をかけ、また、経営感覚の欠如したサービス公

子の算は、単なる数字の羅列ではなく、社運に目をつぶるなど、切迫する財政状況に対する危機感がこの予算案から感じられない。このような無責任で役所の都合のみで編成された予算案には反対する。

代表質問

初日の本会議で、5人の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その要旨をお伝えします。

自由民主党



野川付近

将来を見据えた効率的な行財政運営を

質問 区民税が大幅に落ち込むなど、区の財政状況は厳しい。区民サービスを下下させないよう、長期的展望に立った効率的な行財政運営に努めよ。特に、基金の取り崩しや起債は、将来の大きな負担とならないよう慎重に行え。

区長 企画部長 健全な行財政運営に心掛け、区民福祉の向上を図りたい。計画的、効率的に活用していく。

質問 将来の区政運営の指針となる新基本構想は、高齢化や地球規模での環境問題、さらには政治改革など、激動する社会情勢を十分見通して策定せよ。
区長 著しい変化にも対応できるように

取り組んでいく。
質問 地域の特性を生かした、だれもが安心して暮らせる街づくりに全力をあげて取り組め。用途地域の見直しにあたっては、土地の有効活用が図れるよう、規制を緩和せよ。
都市整備部長 重点施策として積極的に取り組んでいく。区民や議会の意見なども参考に区案をまとめた。
質問 環境基本条例の制定に向けた基本的な考えを示せ。また、リサイクルの視点や、環境保全と都市開発との調整などについては、どのように検討しているのか。
区長 助役 区や区民、事業者の責務を明確にし、環境を守り育てたい。いずれも、現在検討を進めている。

日本共産党



祖師谷商店街

宴会政治はやめ区民本位の区政を

質問 国は福祉や教育予算を切り捨て、消費税の大幅な増税をもくろんでいる。都も公共料金を値上げし、区民生活をさらに圧迫しようとしている。区長はどのように考えているのか。
区長 国や都に、区民福祉の向上が図られる施策の推進を要望していく。

質問 会議を料亭で行い、さらに費用を虚偽の名目で支出したのは、区民不在の政治の表れだ。区長は不正支出を率直に認め、宴会政治はやめよ。区民の信頼回復に向け、抜本的な改革を行え。また、新基本構想に地方自治の原則である清潔、公正の確保を明記せよ。

質問 国は福祉や教育予算を切り捨て、消費税の大幅な増税をもくろんでいる。都も公共料金を値上げし、区民生活をさらに圧迫しようとしている。区長はどのように考えているのか。
区長 国や都に、区民福祉の向上が図られる施策の推進を要望していく。

公明党



千歳鳥山駅付近

区政の刷新に全力で取り組み

質問 新年度予算は、区政改革への意欲を表明するものでなければならぬ。事務事業を抜本的に見直し、優先度を明確にして予算配分せよ。減税による歳入減に対し、どう財源確保するのか。
区長 助役 効率的な行財政運営に努め、多様な住民ニーズに応えたい。

質問 地域行政制度の一層の充実が必要だ。総合支所の財政権の確立、組織体制の整備に努めよ。福祉、保健のネットワークを形成するためにも、福祉事務所の機能を強化せよ。また、職員の提案した改革案も十分取り入れよ。
区長 一層先駆的な区政を展開するた

め、地域行政の推進計画策定に着手するなど、引き続き改善に努める。
質問 重要かつ緊急な課題である住宅政策の推進に全力を注げ。低所得者層向け住宅の供給を図れ。都営住宅の空き部屋の活用を都に求めよ。また、福祉のまちづくり条例を早期に制定せよ。
区長 助役 住宅政策室長 「せたがやの家」システムの有効活用などにより、供給拡大に努める。検討を進める。

質問 交通事故の多発箇所には、早急に安全対策を講じよ。対策強化に向け、専門組織も設置せよ。また、長期的展望のもと、総合的な交通網を整備せよ。環8「エイトライナー」の実現も急げ。
区長 助役 建設・道路整備部長 担当課を設けて対策を強化し、安全確保に努めよ。新交通システムの導入も含め、計画的に南北交通を整備したい。

質問 自転車法の改正を契機に、駐輪場の設置を鉄道事業者へ強く求めるなど、放置自転車対策の強化に取り組め。
建設部長 事業者が積極的に働きかけたい。法改正に合わせ、条例も見直す。

日本社会党・区民クラブ



特別区制度改革推進大会

都区制度改革の早期実現を

質問 6年度予算は歳入の大幅減となり、39年ぶりのマイナス予算となった。事務事業をきめ細かく査定し、区民ニーズの高い事業に優先的に予算配分せよ。長期的な展望に立ち、計画事業を推進するための財源確保に万全を期せよ。
区長 事務事業の見直しを図りながら、効率的な配分に努力する。国や都にも働きかけ、財源確保に努めていく。

質問 都区制度改革の最大の課題である清掃事業の移管が、労使交渉の遅れで難航している。都に円満な解決を働きかけ、長年の悲願である改革の実現に積極的に取り組め。また、都が特別

生活者ネットワーク



鳥山総合支所

区民の立場に立った地域福祉の提供を

質問 真の地方分権とは、住民自治の確立と考えるが、区の見解はどうか。分権の先駆けとしてスタートした地域行政制度の執行体制をさらに強化し、地域特性を生かした活動を展開せよ。
区長 助役 地方と中央の新しい関係づくりに取り組む。住民と一体となって積極的に事業を推進していく。

質問 きめ細かな地域福祉を提供できるように、各種サービスを調整するスリーパーサービスを養成し、福祉事務所に配置せよ。在宅サービスセンターの休日・夜間利用、特養ホームの増設も図れ。また、あえて、高齢対策部に福祉

質問 きめ細かな地域福祉を提供できるように、各種サービスを調整するスリーパーサービスを養成し、福祉事務所に配置せよ。在宅サービスセンターの休日・夜間利用、特養ホームの増設も図れ。また、あえて、高齢対策部に福祉

区側と協議もせず、都区の合意事項を無視して清掃工場の移管を決定したことは遺憾だ。区長の見解を示せ。
区長 平成7年4月までに地方自治法が改正されるよう、都に強く要請していく。清掃事業全般に責任を負うという立場で事務事業の移管を推進する。
質問 特養ホームの待機者が500人を超えている。ホームの増設に積極的に取り組め。当面は、区外にある施設へのベッド数の拡大に努めよ。また、老人保健施設の建設や、在宅サービスの充実にも十分意を尽くせよ。

助役 高齢対策室長 区立ホームの建設促進や、民間施設への建設費助成に努め、ベッド数の確保を図りたい。
質問 区民の切実な要望に応え、火葬場の建設に積極的に取り組め。
企画部長 調査研究を進めていく。
質問 行政全般を公正中立な立場で監視する、オンブズマン制度の早期導入に力を注げ。
助役 区政改革の一環として、導入の検討を進めていく。

保健連携課を新設する理由を示せ。
助役 福祉部長 高齢対策室長 研修を充実し、職員の専門性や調整能力を高めたい。休日・夜間利用は考えたい。順次整備していく。連携の核となる業務を多く担当している所管に設けた。
質問 以前、区長は当区への清掃工場の新設に反対を表明したが、ゴミ問題が深刻化するなかで、現在もその考えに変わりはないか。また、ゴミの減量に向け、リサイクル事業を促進せよ。
区長 生活環境部長 都の対応を見た。資源回収目標量の達成に努力する。
質問 深沢4丁目建設される環境共生住宅では、どのように自然環境の保全やリサイクル、省エネ対策、地域との交流などを図っていくのか。
助役 周辺環境と調和し、健康で快適な生活ができるよう工夫したい。
質問 十分な基礎調査と、幅広い区民参加のもとでマスタープランを作成し、西部地域の街づくりを推進せよ。
助役 今後とも、積極的な区民参加による取り組みを進めていきたい。

一般質問

2日目の本会議では、9人の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その要旨をお伝えします。



文学館について (企画総務領域) ほか

共産 文学館は、だれもが親しめる施設とせよ。特色を出すため、世田谷ゆかりの女性を顕彰する展示場も設けよ。
総務部長 文学がより身近な存在となるよう、ユニークな企画を考えたい。

公明 多くの区民が参加できる国際交流事業を展開せよ。アジア諸国との交流も考えよ。区内在住外国人の声を区政に反映させる方策を考えよ。

区長 区民の交流活動を支援し、国際友好親善を深めたい。候補地があれば、議会とも相談したい。検討課題とする。

民社・無ク 高齢化、少子化に対応できるように、区政改革を推進することが必要だ。改革推進委員会には、意欲のある若手・中堅職員を参画させよ。改革に対する意識を高めるため、各職場で課題を討議せよ。職員組合に改革への協力を求めよ。さらに、人事政策の基本方針の確立、職員提案制度の常設化、管理職の評価制度の導入、監査事務局の拡充による行政監査の強化も図れ。地域行政制度の充実については、



総合支所、出張所の権限拡大や、住民参加の手法の確立などに意を用いよ。
区長 助役 企画・総務経理部長 多彩なメンバーを考えており、課題に応じて職場での議論も予定している。広い視野を持った職員の育成と適材適所の配置に努めたい。オンブズマン制度を検討している。区政改革の一環として、地域行政制度の問題点を検討する。
公明 区民に速やかに区政情報を提供できるように、CATVを導入せよ。区長が電話で直接区民の声を聞く「ホットライン・タイム」も設けよ。
区長 区長室長 事業の特性をふまえて対応したい。広聴機能の充実に努める。
行革10番 美術展の企画請負を商売とする会社の役員が、非常勤とはいえ世田谷美術振興財団の理事長職にあるのは問題だ。区はどう考えているのか。
区長 理事長は、優れた人格や識見、指導力などを備えた人物だ。



区民利用施設について (企画総務・区民生活領域) ほか

公明 下北沢駅周辺は、区民利用施設が不足している。既存施設に合築するなど、整備促進に力を注げ。
北沢総合支所長 公共施設整備方針を策定するなかで検討していきたい。

自民 災害時には、非常配備態勢の早期確立が重要だ。管理職による宿直警戒の実施や、職員住宅の増設による要員の確保を図れ。また、区役所周辺を災害に強い街にするため、建物の不燃化や防災倉庫の設置などに取り組み。
世田谷総合支所長 区民部長 迅速に対応できる体制を整えていく。街づくりに事業を進めたい。適正配置に努める。

改革派 前広報課長の不祥事の監査結果では、何の目的で裏金が使われたのか、真相が解明されていない。トカゲのしっぽ切りを容認し臭い物にふたをするなら議会の存在が問われる。ゼネコンではない堅い商売の自治体職員が、なぜ空宴会、空出張をして裏金をつくらなければならなかったのか。宮城県知事は、選挙費用のため部下に命じたそうだが、どうか。町会、自治会の幹部にバラまいた鉢植は、区長の選挙運動のためだと思うが、どうか。今回の不祥事は、区長室という中枢で起こったことだ。区長は責任を取って辞めよ。

区長 助役 代表監査委員 区長室長 総務・総務経理部長 指摘されたような特別な任務は命じていない。取材協力者などに贈ったものだ。改めて襟を正し、清潔・公正な区政の確立に全力を尽くす。

行革10番 区が設立した株式会社サードビス公社は、多くの区施設の維持管理業務を請け負っているが、実際には、受託した業務を他の会社に再委託し、多額の手数料を稼いでいる。区が、直接業務にあたる会社と契約すれば、手数料分は削減でき、公社との契約を続けることは、税金の無駄遣いだ。財政状況が大変厳しい時期なのに、区はコスト意識を持っていないのではないか。
助役 公社は区職員では対応しにくい



高齢者福祉について (福祉保健・文教領域) ほか

業務を行っており、区民サービスに大きく貢献している。コスト意識は平素から十分考えている。

自民 高齢者を介護する家族の負担を軽減するため、在宅サービスを拡充せよ。高齢者施設は、地域特性や交通の利便性を十分配慮して建設せよ。
助役 高齢対策室長 各種サービスの充実、施設の整備促進に一層努力する。

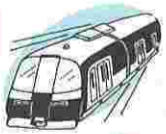
公明 福祉施設の循環バスを増車し、全車リフト付きにせよ。バス停の見直しや付近の歩道の整備も図れ。
障害福祉推進室長 改善に努めていく。
自民 国連の「国際家族年」に合わせ、区も関連事業を積極的に実施せよ。
区長 シンポジウムや健康フェアなど、様々な事業を計画している。

共産 国の保育措置制度の見直しは、公的責任を放棄し、児童福祉法の理念に背くものだ。また、都は保育関連予算を削減し、区に保育料の値上げを迫っている。区長の見解を示せ。
区長 重要な課題であり、制度の十分な検討を望む。保育料の見直しは、社会情勢をふまえて慎重に考えたい。

自民 余裕教室を活用し、子どもと高齢者の交流の場を設けよ。お互いの理解を深めるため、福祉教育の充実にも取り組め。また、地方の子どもとの文化・スポーツ交流を進めよ。いじめや不登校などへの十分な対策も講じよ。
教育長 社会教育部長 学校開放を進めるなかで考えたい。福祉の心を育みたい。体験学習の機会を拡大していく。関係機関と協力して健全育成に努める。

共産 区民のスポーツ意欲に応え、身近で気軽に使える体育施設を増設せよ。千歳温水プールの改築にあたっては、区民の声を十分に反映させよ。
教育長 社会教育部長 区民がスポーツを楽しむ場を拡充していく。住民参加のもとに建設を進めたい。

自民 地域体育館の建設を急ぐとともに、学校施設の開放を一層進め、スポーツの場を体系的に整備せよ。



交通対策について (都市整備領域) ほか

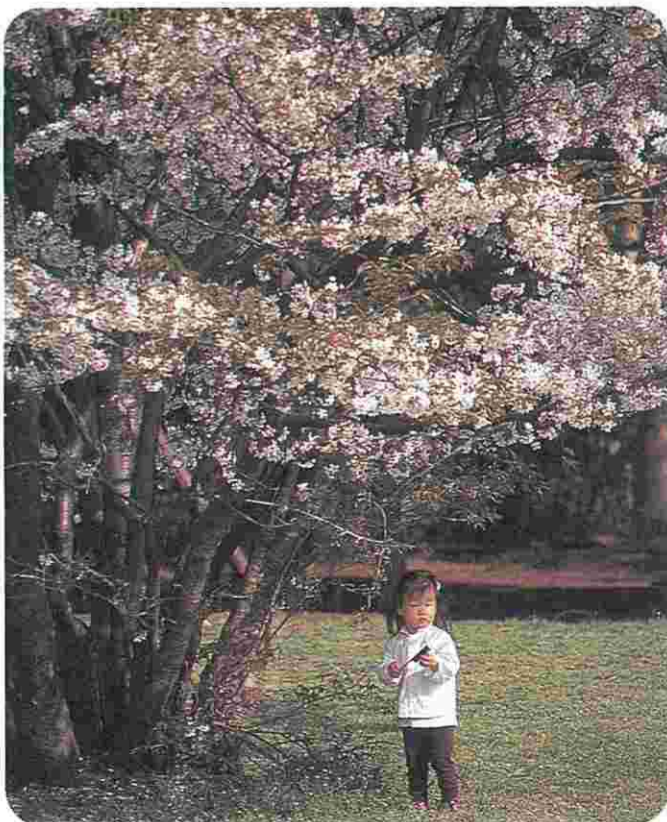
自民 だれもが利用しやすい交通網の整備が重要だ。環8への「エイトライナー」の早期導入に積極的に取り組め。区民に身近な交通機関であるバスの路線網の整備を進めよ。また、交通事故が増えている。交通安全都市宣言を機に、交通安全対策に全力を注げ。

区長 道路整備部長 関係区が一丸となって取り組む。粘り強く事業者との協議を進め、バス交通サービスの充実に向けていく。交通事故の撲滅をめざし、施策の充実強化を図る。
公明 公園や児童遊園をきめ細かく点検し、改善に努めよ。また、世田谷公園に、温水プールを設置せよ。

建設部長 維持管理の徹底に努めていく。プールは、今後検討してみたい。
自民 老朽化したマンションの改築や大規模改修が円滑に行えるよう、専門家による相談制度を導入せよ。管理組合への融資制度や利子補給も実施せよ。
助役 住宅政策室長 国や都と連携しながら施策を研究していきたい。

公明 鎌田・宇奈根地域の交通渋滞を緩和するため、玉堤通りへ通じる道路の整備、野川の橋の新設などに努めよ。
助役 粘総合支所長 玉堤通りや既設の橋の拡幅を都に要請していく。
自民 都市計画道路の整備の遅れから、慢性的な交通渋滞が続いている。目黒通りの川崎側への延伸や、駒沢通りの都立園芸高校付近から環8までの区間の拡幅整備を急げ。

助役 道路整備部長 国や都、川崎市と協議を重ねている。都で用地買収を進めている。
公明 二子玉川緑地運動場の駐車場への出入り口を増設し、周辺の交通混雑や違法駐車解消に全力を注げ。
社会教育部長 周辺住民に迷惑がかからないよう、努力していく。
公明 二子玉川園駅周辺と上野毛駅周辺に駐輪場を設置せよ。
建設部長 設置に向け努力する。



砧ファミリーパークにて

会派名 自民 自由民主党区議団 公明 公明党区議団 共産 日本共産党区議団 社会 区々 日本社会党 区民クラブ 生活ネット 生活者ネットワーク 民社 無ク 民社党 無所属クラブ 改革派 長期オールド与党 合区政を改革する派 行革10番 世田谷行革10番

次回の区議会定例会は6月6日～13日に開かれる予定です

区長の区議会招集あいさつ (要旨)

限られた財源を効率的に運用し 区民サービスの向上に全力

政治・経済情勢は依然として混迷が続いています。このようななかで区政が停滞することが決まらぬよう、私自身が先頭に立って、山積する区政課題に取り組みまいります。

新基本構想の素案に対し、区民の方々に活発な意見をいただきました。今後の策定作業に生かしていきます。地域福祉計画も6年度中に策定します。また、都区制度改革や区政改革の促進、環8への「エイトライナー」の導入に力を注ぎます。新用途地域の指定は、議会とも相談しながら作業を進めます。さて、6年度予算は、厳しい財政状況を反映して、一般会計がマイナス予算となりましたが、区民生活に密着した事業に重点的に財源を配分しました。豊かな市民文化の創造と生涯学習の推進では、中町小・玉川中の改築、総合運動場温水プールの建設を進めます。外国籍児童生徒に日本語指導員を派遣します。また、鳥山葬祭会館などの区民施設の整備、文学館や文化・生活情

報センターの開設準備に取り組みます。福祉施策では、特養ホームのベッド数確保、食事サービスの全区的展開に努めます。また、新たにふれあい区民介護スクールの開設や住宅改造アドバイザーの派遣、骨密度検診を進めます。総合的な環境対策を進めるため、環境基本条例を定めます。リサイクル施設の建設や資源回収の充実も図ります。また、中小企業支援策を強化します。街づくり事業では、地域整備方針の策定や再開発事業の推進に努めます。また、「交通安全都市宣言」を行い、交通安全対策に力を尽くします。さらに、防災対策にも積極的に取り組めます。特定公共賃貸住宅や環境共生住宅の建設、「せたがやの家」システムの充実にも努め、住宅施策を進めます。また、貴重な緑や水の保全にも力を注ぎます。なお、区議・区長などの報酬については、議長からの要請もあり、厳しい財政環境を考慮して、引き上げのための条例改正の提案を見送りました。今後も、効率的な行政運営に努め、区民生活の向上をめざして、活力あるまちづくりを推進していきます。

要望書

区議会は、次の要望書を関係機関あてに提出しました。

学校給食に対する助成制度に関する要望書

平成5年12月22日
内閣総理・大蔵・文部・農林水産大臣あて

相続税・固定資産税・都市計画税の見直し等に関する要望書
平成6年1月20日
内閣総理・大蔵・自治大臣あて

健康保険で良い入れ歯がつくれるよう改善を求める要望書
平成6年3月8日
内閣総理・厚生大臣あて

「障害者対策に関する新長期計画」推進に関する要望書
平成6年1月21日
内閣総理・大蔵・厚生大臣あて

特別区制度改革の早期実現を求める要望書
※この要望書は、同主旨の文面で、次の3機関にそれぞれ提出しました。
平成6年1月21日 自治大臣あて
都知事あて
都議会議長あて

企業総務委員会で審査するもの 6件
固定資産評価の大幅増額に伴う登録免許税等増額に対する適正な緩和措置に関する陳情
消費税率の引き上げ反対を求める陳情
地元中小建設業の不況打開と振興政策を求める陳情

都市整備委員会で審査するもの 2件
建設省職員の大増員に関する陳情
地元中小建設業の不況打開と振興政策を求める陳情

福祉保健委員会で審査するもの 3件
国立病院の病棟閉鎖・入院ベッドの削減をまねく人員削減命令の撤回に関する陳情
病院給食の自己負担拡大・有料化、健康保険の改悪に反対する意見書等提出に関する陳情
保育園の「米飯給食」についての陳情

改善の効率的処置を求める陳情
教育委員の任命に関する陳情
区民生活委員会で審査するもの 1件
「小田急O.X」出店に反対する請願
〔狛江駅北口〕

決議

「交通安全都市宣言」に関する決議

交通事故のない、安心して生活できる社会を実現することは、区民の共通の願いである。

しかしながら、近年の急激な車両交通量の増大に伴い、区内の交通事故は年々増え続けており、尊い人命や大切な財産が失われ、区民の安全で快適な生活がおよびやかされていることは、誠に憂慮にたえないところである。

よって、世田谷区議会は、区民や関係機関と一致協力して、交通事故のない、安全な地域社会を実現することを決意し、ここに「交通安全都市」であることを決議する。

平成6年3月28日議決

請願

皆さんから出された請願の審議結果などをお知らせします。

審議が終了したもの
趣旨採択されたもの 2件
政府の「障害者対策に関する新長期計画」推進に関する陳情

学校給食牛乳予算確保に関する陳情
取り下げが承認されたもの 1件
国立大蔵病院を総合病院として存続し整備拡充を求める意見書等提出に関する請願

新しく出されたもの
企業総務委員会で審査するもの 6件
固定資産評価の大幅増額に伴う登録免許税等増額に対する適正な緩和措置に関する陳情
消費税率の引き上げ反対を求める陳情
地元中小建設業の不況打開と振興政策を求める陳情

都市整備委員会で審査するもの 2件
建設省職員の大増員に関する陳情
地元中小建設業の不況打開と振興政策を求める陳情

福祉保健委員会で審査するもの 3件
国立病院の病棟閉鎖・入院ベッドの削減をまねく人員削減命令の撤回に関する陳情
病院給食の自己負担拡大・有料化、健康保険の改悪に反対する意見書等提出に関する陳情
保育園の「米飯給食」についての陳情

改善の効率的処置を求める陳情
教育委員の任命に関する陳情
区民生活委員会で審査するもの 1件
「小田急O.X」出店に反対する請願
〔狛江駅北口〕

区議の報酬引き上げの見送りを申し入れました
本年1月、特別報酬等審議会より、議員や区長など特別職の報酬・給料を引き上げるよう、答申が出されました。しかし、議長は、各会派の意見や諸般の事情を考慮した結果、2月24日区長に対して、報酬の引き上げの見送りを申し入れました。

会派名の変更
「日本社会党区議団」は、1月4日「日本社会党・区民クラブ」に会派名を変更しました。

ふるさとせたがや

—あの頃 この頃—

今号では、新玉川線用賀駅付近の変遷をご紹介します。上の写真は昭和38年の風景です。昭和44年に廃止された東急玉川線の線路や、昔ながらの電柱の様子が印象的です。下の昭和48年の写真では、線路が取り払われ、さらに道路や歩道、街路灯の整備なども驚くほど進んでいます。写真を通して、時代の移り変わりを感じることができそうです。

用賀地区は明治初期には、養蚕と製糸が大変盛んで玉川地域一の商工業地でした。その後近郊農業地として栄え、関東大震災や戦災などを契機に、次第に住宅地への道を歩み始めます。

現在は、交通網の整備の外、電線の地中化や8つのビルから成る「世田谷ビジネススクエア」の完成など、駅周辺の街づくりが進み、住宅地と業務施設がミックスした新しい街並みを形成しています。

現在の様子▶

編集後記

春本番。草花が咲き乱れ、外に出るのが楽しい季節になりました。ゴールデンウィークの予定は決まりましたか。区内にも名所、旧跡が数多くあります。たまには、ゆつくり散策してみたいかがでしょう。

目の不自由な方のために、区議会だよりのタイプ版を発行しています。お知り合いでご希望の方がいらっしやいましたら、ご連絡ください。

区議会に関するお問い合わせは、区議会事務局までお寄せください。
TEL (五四三) 一一一一
FAX (五四三) 三〇三〇

